

## 平成31年第4回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成31年4月5日 午後4時00分
- 2 閉会 平成31年4月5日 午後5時16分
- 3 会議に出席した委員  
花井 隆教育長、太田孝雄教育長職務代理者、山本明子委員、  
金田真也委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 宮川裕之  
教育総務課長 伊藤英洋  
学校教育課長 渡邊宏光  
生涯学習課長 森下 錬  
スポーツ課長 粕谷幸充  
文化財課長 増山禎之  
中央図書館長 是住久美子  
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則  
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程  
別紙のとおり



教育長

開 会 午後 4 時00分

本日は、何かとご多用のところご出席くださりましてありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達していますので、平成31年田原市教育委員会第4回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と天野委員のご兩名を指名させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

教育長

始めに、教育長報告をさせていただきます。

3月19日、教育委員会定例会

3月20日、小学校卒業式

3月22日、小中学校修了式ということで、今回は曜日の都合上少し長い感じの春休みかなと感じております。

同日、市議会本会議最終日

3月25日、教育委員会表彰は多くの表彰者が出て非常によかったと思います。また、日程を前に送ったということで、例年の年度末日のせわしさが若干緩和されたように思います。

同日午後、新規採用教員の配当校内示がありました。今回、田原出身者が少なく、尾張地方中心者が多くおりました。みんな意欲にあふれており、それぞれ4月から各学校で頑張っているかなと期待しております。

3月28日、臨時校長会

3月29日、教育委員会臨時会と教職員退職辞令交付式

4月1日、教育委員会の辞令交付式と教職員の辞令交付発令通知式。今年は校長、教頭等、管理職の異動も少なく、全体的にも異動としては小さかったかと思いますが、来年、再来年は、校長教頭含めて2年間続いて、定年退職者が多くなってくるので、人事も大変かなと思います。

4月2日、校長会等の訪問がありました。今年の校長会の会長は、衣笠小学校の河合正人校長先生。教頭会は田原中部小学校の山田敦教頭先生。教務校務主任者会の会長は中山小学校の岩田真先生です。

4月4日、中学校の入学式・始業式がありました。福江中学校は伊良湖岬中学校が加わったということで、新聞等にも載っていたと思いますが、やはりブレザーが新しい感じがしてかなりいいかなと思いました。

同日午後から、東三河教育委員代表者会が蒲郡市で行なわれましたので、太田委員と一緒に行ってまいりました。また、太田委員さんからもご報告があると思います。

それから、本日、小学校の入学式・始業式です。

平成31年度児童生徒数等ですが、小学校児童数が3,296名、中学校生徒数が1,632名。トータルすると4,928名ということで、昨年度より小学校は12名減、中学校は50名減っています。今年が一番大きな小学校は童浦小の428名、一番小さい小学校は亀山小で55名。それから田原中学校が一番中学校で大きくて623名、一番小さい中学校が泉中学校で95名。2年後に赤羽根中と統合するということが進んでおります。

以上、このような形で平成31年度の幕開けをして、いろいろなところで動き出したというところです。

来週以降の主な予定としては、9日に校長会があり、校長先生方に今年度のお願いをしております。

また皆さんにいろいろ1年間お世話になりますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

私のほうから以上です。

ご質問等よろしいですか。

では、続いて報告事項に入りたいと思ひます。

教育委員の皆さま方の連絡事項を順次お願ひいたします。

太田委員、お願ひします。

太田委員

3月20日、泉小学校の卒業式に行かせていただきました。卒業生が39名ということで、泉小の中では一番大きい学年になり、また卒業式では中学校の制服を着ますので、在校生に比べると一段とたくましく見えて、とても緊張した、いい式だったと思ひます。ほかの学校でもありますけれども、泉小学校は体育館のフロアの中央に演台を置いてステージにひな壇をつくって、そこに卒業生を据えて、卒業生を主役とした、保護者側からもよく見える形の式でした。今回の卒業生は中学校3年生で赤羽根中と統合するということが、PTA会長の言葉の中にもありましたが、彼らがこういう時代の流れの中に上手に適應していけばいいかなというふうに思ひました。

それから皆さん方と同じように3月25日に教育委員会表彰、それから29日に退職辞令、4月1日に辞令交付式に出席しました。教育委員会表彰の選考委員をやりながら、私は文化協会のほうもありますので、今回文化関係の殊勲賞は岡本さん1人だけで、あとの方は皆さん小中学生を中心にしたスポーツ関係ですので、やはり文化のほうでも、もっと殊勲賞も出てくるといいかなと希望として思ひました。

4月4日に東三8市町村の教育委員代表者会議へ教育長と一緒に出席

席いたしました。初めて職務代理として出席させていただきましたが、東三の教育事務所から県教委の学校教育の方針、生きる力を育む学校教育についてということで話がありまして、これは各学校へ配布される教員研修の手引きの冒頭の部分になるのですが、こちらの説明がありました。そのほか、東三としての生徒指導、特別支援、教員研修等の取組みについての連絡がありました。その中で来年1月28日に管内の市町村教育委員研修会が田原市で行われることを皆さんとても楽しみにしているというお話をいただきました。

情報交換の中で、各教育委員会から幾つか課題が出され、臨時教員の確保が大変難しいということで、豊川、蒲郡、新城は欠員で4月1日にスタートしたという話がありました。

それから、今年は改元によって5月の10連休など祝日が多いので、授業時間数確保の問題。特に中学校3年生は3月早々に卒業式がありますので、ちょっと早いのではないかなというようなご意見があったり、改善点として夏休みを活用というようなこともあります。やはり夏休みは家庭のほうに返すというように来ていますので、夏休みに授業を設けるということはどうかなということですが、文科省のほうから総合の時間の4分の1は夏休みにやってもいいというような文書が来たという話がありましたので、またこれについてもどのような対策をとり組むか、わかりませんがそのような動きをされました。

第二部の懇親会では本当にいろいろなお話ができて、東三としてまとまっていくことの大切さを感じました。先ほど言いました1月にも全員の教育委員さんが参加する研修会、懇親会もありますので、そのときには皆さま方も懇親を深められるといいかなと思います。

以上です。

教育長

ありがとうございました。1月28日の田原市での研修会・懇親会では懇親を深めていただければと思います。

山本委員、お願いいたします。

山本委員

3月2日の田原中学校の卒業式に出させていただきました。告辞は何回やっても緊張しました。いつも合唱を行うのですが、在校生がハモっていて、すばらしいコーラスで送られまして、とてもいい卒業式でした。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

では、金田委員お願いいたします。

金田委員

3月20日、亀山小学校の卒業式に行ってきました。全校58名の卒業式ということで、卒業生が入場したときに、制服がブレザーということで、来賓席から「おおっ」という声が聞こえ、みなさんいい印象を

お持ちの様子でした。

卒業証書授与式なのですけれども、児童数が少ないということで、先生が一人一人にメッセージを送りながら渡して、卒業生がその証書を持って、先生から花をもらい、その証書と花を保護者の方に持って行って、ありがとうと言っているのか、照れくさそうに渡す。いろいろな子がいたのですけれども、小規模校ならではの渡し方をしていました。

P T A会長の子どもたちへの「他人と自分を比較せず、自分のいいところを見つけてください。自分の個性を伸ばしてください」という言葉が一番印象に残りました。

卒業生を見送った後に、卒業生と両親と、来賓も少し、隣接されている市民館に移動して、主事さんがつくってくれた30分くらいのDVDの上映会をしました。とてもいい内容で涙を流している人もいました。P T Aの研究発表会でも小規模校のよさというのを、すごく言っていて、卒業式の光景を見て、地元の温かさなどをとても実感しました。市民館が隣接というのも、少しは影響しているのかなというイメージもありました。

3月25日に教育委員会表彰式。今までは表彰式と同日に退職者の辞令交付式があったのですがすけれども、やはり先ほど教育長が言われたように、表彰式の日程を前にずらすことによって、気持ちの入れ替えもでき、落ち着いて退職者の方を送ることができて、そういった部分では表彰式を前に持って行って正解だったのかなと思いました。

また表彰式のために、市役所に掲げた懸垂幕も飾ってあればよかったのかと思いました。

3月29日の退職者辞令交付式では、学校訪問や音楽発表会だとか、そういったところでお会いしたすばらしい先生が退職していくのだなと思って、自分はとても残念に思いました。途中でやめていく先生が全員女性というのも、一つ思いました。

4月1日の辞令交付式、発令式ですけれども、10分前に集まっていて、引き締まっているなど節度を感じて、大丈夫だなというふうに感じたのが印象的でした。

以上です。

教育長

ありがとうございました。懸垂幕は、きっと本人にあげてしまっているのではないかなと思って。

スポーツ課長

そうだと思います。

教育長

実は、懸垂幕も10メートルくらいあるので、本人たちも記念にはなるけれども、家に飾るわけにもいかないというところがあるかなと。今回は小学校のリレーと、中学校陸上の吉居君、高校弓道の河合さん。それから、福岡マラソンの服部勇馬君というところで、全国優勝が4つありました。

天野委員

では天野委員、お願いいたします。  
お願いいたします。

3月20日、童浦小学校の卒業式に行かせていただきました。太田委員からもあったように、舞台がひな壇になっている卒業式を初めて見まして、保護者の立場から言うと、常に自分の子どもの顔が見えていられるというのはいいなと思いました。やはり合唱は、保護者でなくても感動しまして、とても厳粛でいい式でした。

3月25日の教育委員会の表彰式に出させていただきます、やはりこちらから初めての参加に加えて、記念の盾をお渡しする役をいただきまして、大変緊張いたしました。教育長がおっしゃられたように、こんな小さな市から全国大会レベルで活躍される選手の方々が、素晴らしい成績をおさめられているということは、本当に誇りに思います。

3月29日の教職員退職者の辞令交付式、先ほども金田委員がおっしゃられたように、実際私はPTAをやっていたときに、お世話になりました先生が定年ではなく、途中で退職されるということでびっくりしました。

4月1日の辞令交付式に参加させていただきました、新しい先生方も緊張感の中でも挨拶をされる舞台のほうですとか、自己紹介をしてくださった校長先生のほうですとかにしっかり体勢を変えており、やる気と吸収しようという意欲が感じられ、すごく頼もしく思いました。

本日、小学校で入学式と始業式があったということで、小学生の姪っ子が「新しい先生になったよ」と、すごくうれしそうな顔をして走って来まして、ちょうどこの間、辞令を受けられた新任の先生が担任になってくださったというのを、とてもうれしそうに話していたのがとても印象的でした。以上です。

教育長

ありがとうございました。  
では、以上で報告事項を終わります。

教育長  
教育部長  
教育長  
教育部長

次に、その他ですが、事務局から何かございますか。  
お願いします。  
部長、お願いします。  
まず、3点ほど報告をいたします。

1つ目として、新元号が発表されました。基本的には5月1日の文書から新元号を使ってまいります。これに伴いまして、教育委員会のいろいろな要綱ですとか、規則、その様式等の表記も改正していきます。

2つ目ですけど、長時間労働の是正ということで、労働関係の法律が改正されました。私たち地方公務員は法律の対象外なのですが、この趣旨に沿いまして時間外勤務命令の上限設定を行うよう、条例規則が改正されました。4月の時間外から対象ということで、通常

の業務は1カ月45時間以内、1年間で360時間が基本になります。ただし税務課の確定申告のような業務量・時期が集中するものや、災害対応など緊急のものは対象外ということで、事前に指定をするような形になります。教育委員会事務局といたしまして、上限の範囲内で事務事業に支障が出ないよう、みんなで連携を取りながら対処していくように考えております。

3つ目ですけど、豚コレラの防疫措置。教育委員会の職員も従事しましたが、本日の午後5時ごろには終了する見込みです。半径3キロメートルから1キロメートル圏内の農場は、今日から出荷が再開をされております。

以上3点を報告させていただきます。

次に、新年度が始まったということで、本年度の事業についてお話をさせていただきます。教育委員会事務局の組織職員名簿、教育方針、予算参考資料をつけさせてもらいました。

前回お話ししましたが、本年度教育委員会は、事業が大変多いということで5人増加の体制でスタートいたします。各事業の実施にあたって、前向きな姿勢で事業に取り組んでいくこと。それと教育委員会や議会に否決など、説明が必要な事業も多くありますので、スケジュールを組んで計画的に行っていくこと。こういうところを心がけて実施してまいります。

それでは、本年度の重点事業について、各課から説明いたしますので、事業の内容など、進め方について、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

それではまず、教育総務課からお願いします。

予算参考資料をご覧ください。

教育委員会運営事務というところから教育総務課になりますので、説明させていただきます。

この教育委員会運営事務というところは、教育委員会定例会等の開催・運営等をしていく予算になっております。その下、小中学校再編事業では、今年度は主に、統合しました福江中学校の3年生が、修学旅行の前に一度事前宿泊を行うものや、2年後に統合する泉中学校と赤羽根中学校の事前交流に関するものとなっております。

次のページ上段、義務教育振興事業では小中学校や、教職員の各種団体への活動支援ということで、校務支援システムの使用料、豊橋市立特別支援学校の運営費の負担金、スポーツ振興センターへの保険料、校長会、小中体連等関係各種への負担金をこちらのほうでみております。

その下段、部活動奨励事業につきましては、各小中学校への部活動奨励のための交付金交付や全国大会に出場する際の保護者の負担を軽減するための費用負担といったところとなります。

教育総務課長

次に6ページ上段の高等学校等の生徒支援事業ということで、今年度から新規事業があります。高等学校へのバス通学の支援として、市内に在住する高校生のバス通学定期券を3割補助していくというものを、今年の9月から適用ということで実施していきます。現在その周知期間ということで、これから要綱を作成して、こういった手続で対応していくかというのを協議してまいります。

その下段の小学校管理運営事業につきましては、小学校の環境整備、施設の維持管理、修繕等が大きな母体となっています。また、スクールバスの運行业務の費用もあります。今年は田原南部小と衣笠小学校の非構造部材撤去工事を予定しております。

7ページ、小学校情報教育整備事業は、学校のコンピューター関係の機器類のリースや購入といったところになります。

次に8ページ、小学校管理運営事業学校配当予算ということで、各学校に事前に配当予算を組んでおります。こちらのほうで、学校がそれぞれ1年を通して運営いく予算が計上されております。

それから、9ページ下段の小学校教育扶助事業ということで、援助が必要と認められる保護者に対しての就学援助費の給付予算がこちらにあります。

さらに10ページの上段につきましては、小学校特別支援の関係での補助の予算になります。

11ページですが、こちらも大きな事業になります。伊良湖岬小学校の整備事業ということで、今年度と来年度の2カ年で伊良湖岬小学校の新校舎の建設工事を行います。今年度の予算が約6億4,500万。全体の予算として2カ年で15億8,000万円という予算を現在予定しております。2年後、2021年の9月、二学期からのスタートという予定であります。

その下段、中学校管理運営事業。それから次ページ以降の中学校情報教育整備事業。さらに学校配当予算。13ページの中学校教育扶助事業等につきましては、先ほど小学校のほうで説明した内容と一緒です。予算額の違いはありますが、制度、仕組みについては同じですので省略をさせていただきます。

34、35ページでございますが、こちらは給食センターを運営するための事業とそれから給食物資を購入するための予算ということで、それぞれ計上をさせていただいておりますので、またお目通しをお願いいたします。

教育総務課からは以上でございます。

学校教育課の説明後に、一度質問を伺いたいと思います。

学校教育課からですが、該当ページの項目を拾いながら、適宜ポイントになるところだけ補足をさせていただきます。

最初に1ページをご覧ください。教育統計調査事務ということで、

教育長  
学校教育課長

こちらは従前どおり学校基本調査等の費用になります。

続いて、3ページ上段、学校教育推進事業ということで、一人一人の児童生徒に応じた教育の充実に向けての人材の配置。それから多様な教育環境を推進するという。この中で新規事業がございます。中学生を対象として、よりよい学校生活の友達づくりのためのアンケート「QU」を実施するとあります。このQUテストというものは、集団の中でのその子の位置づけ、孤立感を覚えているとか、集団への帰属意識が高いとか、そういった心理を図るテストであります。中学校全校でこちらのテストを行うということで予算をつけていただきましたので、またその制度については検証していきたいというふうに思っています。いじめ防止の未然防止ということを中心にしております。

それから下段の国際理解教育推進事業については、外国青年語学講師ALT2人をジョージタウンから招致するというのが1つ目。それからもう一つ、小学校の英語教育のプログラム改善に力を入れた配置ということで、業者と提携しながら特に小学校の英語教育を改善していく。そういったことに力を入れていくということでございます。

続いて、4ページ上段、中学生海外交流事業は昨年のおり引き続きの予定です。

下段の教育サポートセンター事業。ここは、ふるさと教育センター内への移転が本年度、特に大きな動きになっております。

5ページの教育研修事業。こちらにも新規事業がございます。プログラミング教育指導者育成講座を実施するというので、新学習指導要領の中で、プログラミング教育というものが従前から話題になっておりますが、本市でもその指導者を養成していくための講座を今後企画していくということで、外部の講師を招きながらの研修になるという予定でおります。今のところ管理職に意識改善を図ってもらうということも重要なものですから、管理職を少し呼んでの研修ができるというふうな話題が出ております。

続いて、9ページ上の段です。児童・職員健康管理事業です。こちらは小学校の分で、従前どおりの内容になっております。

10ページの下段です。小学校教材購入事業ということで、こちらにも従前どおりになります。「ことばのきまり」等の補助教材を主として購入して、活用を図っております。

13ページと14ページ。こちらの上段と下段にそれぞれ小、中に分けて、生徒・職員健康管理事業というものを載せさせていただいております。

学校教育課からは以上でございます。

では2つの課の予算説明について、ご質問等がありましたら受けたいと思います。

教育長



教育部長  
教育総務課長

という証明がいるということですか。

そうです。市内在住ということと、どこからどこの区間の利用か。市から認めたスタンプがあるものがないと、市内の子かどうかわからないということですので。

天野委員  
教育長

確かに。

ということで9月からスタートということで、周知、準備等で時間が多少いるということでご理解いただきたいと思います。

山本委員

学校教育課のほうで、5ページの新規事業の、プログラミング教育指導者育成講座を実施するというのは、外部の人を呼んで講座をやりますということですか。

学校教育課長

今のところ、業者に見積もりを依頼しているところでして、その中で今後相談をしていくという形です。

山本委員

このプログラミングというのは、パソコンの勉強をするのか、それとも教育の中でその教育の仕方をプログラムするのか、どちらですか。

学校教育課長

入り口としては、やはりパソコンなのかなと思っています。理解しやすいのは、例えば、言語でロボットや車を命令どおり動かすであるとか、ドローンの様なものを実際に飛ばすとか。そういうようなことが入り口だと思うのですが、ただ先々を考えると、やはりコンピューターを扱うからプログラミング教育になるのではなくて、各教科、なじむ教科なじまない教科があると思うのですが、個人的には家庭科の調理実習などは、極めてプログラミング的な段取りを考えながらやるかなと。

山本委員

要するに、先の将来を見据えたような研修をしていくという感じですか。

学校教育課長

そういう考え方を子どもたちに身につけさせたいという。

山本委員

だけど、ここは先生がやるんですよね。

教育部長

これは、先生を育てる。

学校教育課長

まず、その指導する先生を育てるところです。

教育長

技術とともに、やはりプログラミングに慣れる。今回新しい学習指導要領の中で、プログラミング教育を行うようにと出ている。本当は2020年の新指導要領からなのですけど、その前に。今回はドローンを飛ばす試みかな。

教育部長

まだ何を使ってというのはないんですけども、とにかく入り口。先ほど言われたように、例えばドローンの組み合わせであるとか、それをやって最終的には子どもたちの論理的な思考であるとか、そういったところにつなげていくような形にできないかなとふうに。

山本委員

こういったことは、必要ですね。

教育長

こういう考え方で、プログラミング教育という名前が出ているのですけど、プログラミングを丸1時間やるとかいうのではなく、授業の

中でプログラミング教育の考え方を入れた授業を行っていくということです。

それでは、生涯学習課とスポーツ課にお願いしたいと思います。

では、生涯学習課からお願いいたします。

生涯学習課では、本年度ふるさと教育センターを核として、ふるさと教育の充実及び振興を図るために、新たにふるさと教育係が新設されました。また、文化会館とスポーツ施設を一体的に管理するために、施設管理係をスポーツ課から生涯学習課に所管替えを行いまして、課としては三係体制で事業を推進していきます。したがいまして、事業数も27事業もあるということで、説明については昨年と比較して大きく変わったところ、あるいは主だったところのみとさせていただきます。

それでは、15ページ下段をご覧ください。放課後子ども教室運営事業につきましては、上段の児童クラブと合わせまして、放課後の児童の安心安全の確保と育成を図ることを目的に各小学校区で行っているわけですが、ただいま亀山小学校のみ実施していないということがございます。こちらについて、要望があれば対応できるように、今回予算化をさせていただいているところです。

18ページをご覧ください。こちらが先ほど申しました、ふるさと教育センターの整備事業と運営事業でございます。本年度の教育方針の主要事業となっておりますふるさと教育センターの開設に係る新規事業となっております。上段のふるさと教育センター整備事業は、文化財資料移転、旧野田中学校の改修工事、旧成章高校赤羽根校舎の解体工事を含めまして、1億3,100万円ほどの事業費となっております。下段のふるさと教育センター運営事業につきましては、センターの光熱水費や保守点検業務など、管理運営に関する費用556万円余を計上しています。ふるさと教育センターでは、教育サポートセンター、教育相談、くすの木教室、子ども・若者総合相談窓口を始めまして、ふるさと教育に関する教材等の集積保存、教員の集会や研修、文化財の整理収蔵などを行ってまいります。

続きまして、22ページ下段、田原文化広場整備事業につきましては、昨年度、多目的ホールの非構造部材耐震改修工事を行いました。今年は引き続きまして、文化ホールの非構造部材の耐震工事を予定しております。

33ページ上段、中央公園スポーツ施設整備事業です。こちらは、公園内の老朽化したテニスコートの人工芝全8面の張替えを行うものです。事業の費用につきましては、スポーツ振興くじ助成金を活用して、今回整備を行っていく予定です。この助成金につきましては、昨年、渥美運動公園のテニスコートの芝の張替え、野球場のナイター照明の改修に活用しているものです。

スポーツ課長

下段、総合体育館整備事業につきましては、体育館のアリーナとロビーの非構造部材の耐震補強と照明設備をLED化にするというものです。

その他の事業につきましては、若干の費用の上下はありますけれども、昨年と同様の事業を行っていく予定です。

簡単ではございますが、生涯学習の説明とさせていただきます。

それではスポーツ課から、簡単に説明をさせていただきます。26ページから28ページまでの5事業でございます。

まず、26ページのスポーツ振興事業については、主に書いてあるとおりですが、昨年と比較をいたしまして、25万6,000円ほど減となっております。

27ページ上段、スポーツ団体支援事業については、昨年とほぼ同額です。

下段の学校施設開放事業については、昨年と比較をいたしまして、東部中学校のナイター設備の撤去工事があるということで、230万ほど増となっております。その他の内容については、ほぼ変わっておりません。

28ページ上段、スポーツ大会開催事業は、昨年と比較いたしまして、報償費等々を精査しまして若干ではあります予算を減らしたものです。内容については、特に変わっておりません。

下段のスポーツ大会支援事業については昨年と比較しまして、トライアスロンの資材保管場所の敷地内の草刈り委託料が増えておりますが、あとの内容等は変わっておりません。

事業全般についての説明ですけれども、2020年のオリンピック、あるいは2026年のアジア大会におきまして、スポーツ課としても、予算には直接反映しておりませんが、聖火リレーのお手伝いをしたり、パラリンピックには吉胡からスタートするちょっとした聖火リレーも考えておりまして、現在手を挙げている状態で決まったわけではございませんけれども、そのような形で予算に反映していないものについても動いています。

2026年のアジア大会のサーフィンのほうは、どうも有力だということも情報がありますので、またふたをあけてわかったらご連絡させていただきたいと思います。

以上です。

教育長

ではスポーツ課、生涯学習課、2つありましたが、何かご質問ありますでしょうか。

では文化財課と中央図書館、それぞれ新しい館長から、よろしくお願いします。

文化財課長

文化財課でございます。博物館長になりますので、よろしく申し上げます。

基本的に、事業自体の新しさというものは、あまりはっきり見えてきませんが、基本的にはふるさと教育の中で、どのように文化財を位置づけて、市民の皆さん、特に子どもたちにどのように伝えていくかということをやっていく基礎づくりの年ということになります。

まず、23ページ上段の埋蔵文化財調査事業について、新規事業はありませんが、毎年渥美半島の貝塚の発掘調査を国庫補助でやっておりますので、その辺りを強化していきたいと考えております。

下段の文化財保護事業は、国指定史跡渥美古窯群測量調査ということで、本来であれば教育の計画の中の文化財計画のほうが先に策定しなければならないところなのですが、事情で先行するというような形になっておりまして、渥美古窯群の保存の計画づくりのための1つの事業として行う予定です。そのため前年度より予算が増えています。

24ページ上段の吉胡貝塚公園運営事業につきましては、例年どおり体験学習を中心とした活動をしていく予定でございます。

下段の博物館運営事業ですが、今回一番改善したのが、こちらのほうでして、毎年4本あった展覧会を1本減らしまして、その減らした分を文化財保護事業に振り分けたり、博物館の修繕に充てたりしております。

そして、今回半期の計画を載せた展示案内のリーフレットをつくらせていただきました。表紙に猫の絵があるんですが、これは浅野学芸員の実質的な初仕事ということで、館蔵品を中心として他館から借りてくる。まず館蔵品をしっかり把握した上で、展覧会をやっていこう。地域をしっかり把握した上で展覧会をやっていこうという、基礎固めを今年はやっていきたいというふうに思いますので、ぜひ期待していただきたいと思います。

そのほかに展覧会は、そうとは言っても多くの人に親しんでいただく博物館をということで、日本アニメーション美術創造者、山本二三展ということで、ジブリなどの背景画を手がけている作家の展覧会になります。私も見たことがあるような風景がありますので、こちらのほうもぜひ期待していただきたいなと思います。

あと、池ノ原会館の運営、崙山会館の運営があります。こちらのほうは、財団法人崙山会に指定管理を委託して運用しているところであります。

とにかく、ふるさと学習をどこまで軌道に乗せられるかというのは、文化財としてもすごく大事な仕事だと思います。また、職員がどれだけスキルアップできるかというのも、今年の課題ですので、ぜひご指導お願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

では続きまして、中央図書館、お願いいたします。

中央図書館長を拝命いたしました是住です。どうぞよろしくお願いいたします。

教育長  
中央図書館長

資料の20ページ下段の図書館運営事業は図書館の運営にかかわる事業になりまして、21ページ上段のほうの図書館資料収集事業は図書、雑誌、DVDなどの視聴覚を購入するための事業、この二つに分かれております。

20ページ下段の図書館運営事業のところには新規事業としまして、市民提案型委託事業というのがあります。こちらは昨年度企画課が募集した事業になっておりまして、市民の団体の方から提案がありまして図書館が担当することになりました。内容としては、田原の歴史的な出来事である渥美線の機銃掃射を、体験者の聞き取りを紙芝居にして、市内の学校へ配布すると同時に、デジタル化をしてインターネットですとか、DVDの形で閲覧できるようにするものです。

図書館は資料の提供、調べ方の案内、デジタル化の支援を行います。地域の歴史について、市民の方たちが自分たちで記録をして、発信していくような方法を学んでいただいて、そのような活動が広がることで、田原に愛着を持つ市民が増えることを期待しているものです。

この事業を初めとしまして、ふるさと教育取り組み指針の実現に向けて博物館ですとか、ふるさと教育センターなどと連携をして取り組みを進めてまいります。

以上です。

ありがとうございました。

博物館、図書館それぞれカラーに合った取組みを今年度も展開していきます。また折々、質問等がありましたら、お尋ねいただきたいと思います。

以上平成31年度予算の教育委員会部分の説明とさせていただきますので、ぜひ、委員の皆さまには絶大なるご支援と激励をいただきながら、進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

では、何かほかにありますか。

1点だけ。

では、お願いいたします。

次回の教育委員会定例会につきましては、定例会に引き続いて総合教育会議を開きたいと思います。

これは現在パブリックコメントを行っています田原市学校未来創造計画につきまして、市長部局にも承認をいただき、策定という形の流れにもっていきたいというものもありますので、会議が連続しますがよろしくお願いします。

以上です。

では、みなさん次回のご予定をよろしくお願ひしたいと思ひます。

よろしいでしょうか。

では以上で、本日の議事は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

教育長

教育総務課長

教育長

教育総務課長

教育長

これもちまして、田原市教育委員会第4回定例会を閉会とさせていただきます。

お疲れさまでした。

閉 会 午後5時16分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員